

アジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2022
「Make Impossible Possible (不可能を、可能に)」を伝えるアワード
第3回「バイオジェン・アワード」
96歳で学校に通い始めた女性を描いた『素足の女王』に決定！

バイオジェン・ジャパン株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:ニコラス R.ジョーンズ、以下バイオジェン・ジャパン)は、米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭、ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2022(略称:SSFF & ASIA)において、「Make Impossible Possible (不可能を、可能に)」という、バイオジェン・ジャパンのビジョンを力強く伝える作品に授与する「バイオジェン・アワード」を発表しました。

第3回バイオジェン・アワードには、96歳で学校に通い始めた女性の姿を追った、インドのドキュメンタリー作品『素足の女王』の受賞が決定いたしました。第1回(2020年)はクラスメイトへの思いやりを描いた『最後の試験』(シンガポール)、第2回(2021年)は美容師になる夢をもつ車椅子の兄を後押しする妹の前向きな姿を描いた『階段』が受賞しています。

今回の受賞作品の Vikas Khanna(ヴィカス・カンナ)監督は、ヒロインであるカルシアニ・アンマさんが、インドの田舎の村で96歳のときに教育を受けるという旅に感銘を受け本作品を制作。年齢や慣習に関係なく、努力によって夢を叶えた実話は、まさに不可能を可能にしたストーリーで観る者の感動と共感を呼びます。

本作品は、SSFF & ASIA 2022 ノンフィクション部門ノミネート作品として、本日から6月30日(木)までSSFF & ASIA グランドオンラインシアターでご覧いただけます。

URL: <https://www.shortshortsonline.org>

【第3回バイオジェン・アワード受賞作品】



『素足の女王』(Barefoot Empress)

Vikas Khanna / 0:15:32 / インド / ノンフィクション / 2021

カルシアニ・アンマさんは長い間インドの寺院の清掃係として勤めてきた。彼女は慣習を破り96歳で学校へ通い始める。周囲の予想を裏切り彼女はクラスで一番の成績を収めた。彼女の努力の物語は何をするにも遅いことはないという証拠なのだ。



監督：Vikas Khanna(ヴィカス・カンナ)

世界的に高く評価されているインド系アメリカ人のシェフで、ミシュランスターを取得するなど、アメリカで最も活躍するインド人シェフの一人に選ばれている。また、ドイツの国際放送ドイチェ・ヴェレで世界で最も影響力のある 10 人のシェフの一人として紹介された。37 冊の著書がある作家・ドキュメンタリー作家。「The Last Color」は彼のデビュー監督・脚本作品。

バイオジェン・ジャパンの代表取締役社長であるニコラス R. ジョーンズは受賞理由について以下のように話しています。「96 歳であっても勉強をしたいという強い思いをあきらめずチャレンジする姿、また年齢にかかわらず努力し続けてクラスで一番の成績を収める姿は、『不可能を、可能に。』という弊社のビジョンに合致するものです。カルシアニ・アンマさんご自身の諦めないという強い気持ちは、病気であってもやりたいことに挑戦する当事者の方々の気持ちと相通ずるものがあり、共感できる作品です」。

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2022 概要】



■映画祭代表：別所 哲也

■開催期間：6月7日(火)～6月20日(月)

オンライン会場は 4月28日(木)～6月30日(木)

■上映会場：オープニングセレモニー会場 LINE CUBE SHIBUYA

ユーロライブ

表参道ヒルズ スペース オー

TORQUE SPICE & HERB, TABLE & COURT

iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ

赤坂インターシティコンファレンス

※開催期間は各会場によって異なります

■料金：会场上映：無料 ※一部有料イベントあり

4月28日～ チケット販売のオンラインプラットフォーム

「Peatix」にて事前申し込みいただけます。

■一般からのお問い合わせ先：03-5474-8844

■公式サイト：<https://www.shortshorts.org/2022>

■主催：ショートショート実行委員会 / ショートショート アジア実行委員会

※新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、時期または内容を変更する場合があります。

ショートショートフィルムフェスティバル & アジアについて

ショートショートフィルムフェスティバル & アジアは日本発の国際短編映画祭で、俳優の別所哲也が代表を務めています。1999年に別所哲也らが創設し、「アメリカン・ショートショートフィルムフェスティバル」として東京・表参道で誕生。2001年より「ショートショートフィルムフェスティバル」として開催されるようになりました。オフィシャルコンペティションでは25分以内の短編映画を対象とし、国際短編映画祭としてはアジア最大級で、2004年より米国アカデミー賞公認映画祭に認定されています。

<https://shortshorts.org/2021/>

バイオジェンについて

神経科学領域のパイオニアであるバイオジェンは、最先端の医学と科学を通じて、重篤な神経学的疾患、神経変性疾患の革新的な治療法の発見および開発を行い、その成果を世界中の患者さんに提供しています。1978年にチャールズ・ワイスマン、ハインツ・シェイラー、ケネス・マレー、ノーベル賞受賞者であるウォルター・ギルバートとフィリップ・シャープにより設立されたバイオジェンは、世界で歴史のあるバイオテクノロジー企業のひとつです。バイオジェンは多発性硬化症の領域をリードする製品ポートフォリオを持ち、脊髄性筋萎縮症の最初の治療薬を製品化し、アルツハイマー病の病理に作用する最初で唯一の治療薬を提供しています。また、生物製剤の高い技術力を活かしてバイオシミラーの製品化を行い、業界内で最も多様な神経科学領域のパイプラインに注力し、進展させており、アンメットニーズが高い疾患領域の患者さんの治療水準に変化をもたらしています。

2020年、バイオジェンは、気候、健康、公平さが深く相互に関連する課題に対して、20年間に2億5000万ドルを投資する大規模な取組みを開始しました。Healthy Climate, Healthy Lives™は、ビジネス全体で化石燃料の使用をゼロにし、著名な研究機関とのコラボレーションを構築して科学研究を進展させ、人類の健康を改善し、発展途上のコミュニティをサポートすることを目的としています。

バイオジェンに関する情報については、<https://www.biogen.com/> および SNS 媒体 [Twitter](#), [LinkedIn](#), [Facebook](#), [YouTube](#) をご覧ください。

バイオジェン・ジャパンは、米国バイオジェンの日本法人です。世界で有数の歴史のある独立系バイオテクノロジー企業の日本法人として、日本では2000年より事業を展開しています。「神経科学の不可能を、可能に。」をビジョンに掲げ、日本の患者さんにも革新的な医薬品やより良い治療環境を提供すべく活動を展開しています。

バイオジェン・ジャパンに関する情報については、<https://www.biogen.co.jp/>、および SNS 媒体 [Facebook](#), [Twitter](#), [Instagram](#), [YouTube](#), [LinkedIn](#), [LINE](#) をご覧ください。

報道関係者お問合せ先

バイオジェン・ジャパン株式会社

広報・CSR 本部

本部長 三井 貴子

TEL : 03-3275-1745 Email: Japan-PA@biogen.com

携帯:070-1501-4315

Biogen-170872